

高知自動車道を知ろう!

深夜の高速道防災訓練体験記



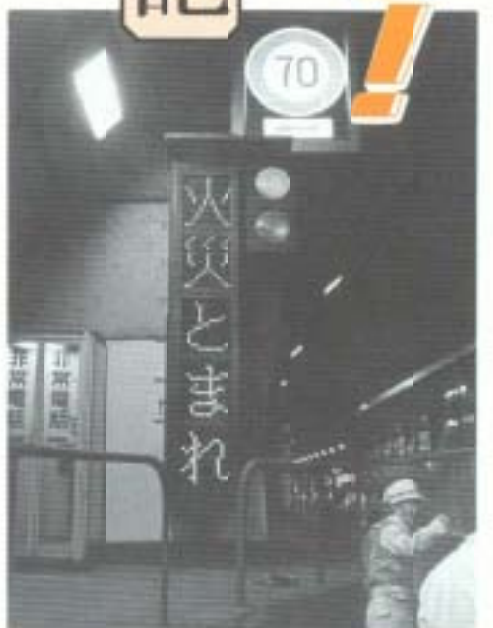
もしものとき、あなたは?

交通事故の撲滅が叫ばれている今日ですが、日々のニュースでは、毎日といっていいほど悲しい事故を伝えていきます。高速時代の真っ只中、南国市は現在、高知県で唯一の高速道路の玄関口となっています。今回、日本道路公園四国支社南国管理事務所の全面的な協力をいただき、「高知自動車道 明神トンネル防災訓練」に参加して、高速道路の安全対策などについて、広報委員会が取材しました。

高知自動車道は、川之江ジャンクションと南国インターチェンジを結ぶ、約五十キロの高速道路。山岳ハイウェイであるがゆえに、大小合わせて十九本のトンネルの総延長は、二十六キロで全体の半分以上を占める。四国山地に風穴があき川之江までつながっ

た平成四年一月以来、南国市から瀬戸内側、中国地方までも日帰りコースになるなど、私たちに大幅な時間短縮と活動範囲を広げてくれた。今まで大変お世話になった国道三十二号線には申しわけないが、もう陸上交通手段として高速道路なしには考えられなくなってきた。しかし、事業費や交通量の増大から、暫定二車線区間が多いため危険を感じるドライバーも多いと思う。

高速道路での交通事故は、快適性とは裏腹に一度起こると考えられないような大事故につながる。多くの犠牲者が出ることに過去の事例が物語っている。事故防止にはドライバー個々の注意はもちろんのことだが、もし発生した場合、いかに被害を最小限に食い止めるかがポイントとなる。



火災とまれ

そのためさまざまな防災施設が設置・工夫されており、道路利用者の人命保護と交通滞留時間の短縮を図るため、多くの関係機関の迅速な連携が不可欠である。

一日平均通行台数は、大豊まで開通した昭和六十二年当時、約三千四百台であったが、川之江までつながった平成四年には約五千五百台、現在では約九千九百台に増加している。四国の高速道路の交通事故は、一年間に四百三十一件(平成六年)発生している。

原因ワースト3

1位	わき見運転	158件
2位	ハンドル操作不相当	90件
3位	ブレーキ操作不相当	42件

なんこく再発見⑫

十月十四日、トンネル内での事故を想定して、大規模な総合防災訓練が行われた。私たちは、二年に一度の訓練を見学し、貴重な体験ができる幸運に恵まれた。(訓練は毎年だが、高知県側と愛媛県側が交替でやるため) 今回の訓練では以下の七項目が実施された。

- ◆ 交通事故発生に伴う交通規制訓練
- ◆ 交通現場の事故処理訓練
- ◆ 避難誘導・負傷者の搬送訓練
- ◆ 火災検知・非常電話による通報訓練
- ◆ 消火栓による初期消火訓練・水噴霧放水訓練・消防車による放水訓練
- ◆ 交通事故処理訓練
- ◆ 事故車けん引訓練

事故は、明神トンネル内で、普通車と観光バス(県交通・土電・JR参加)が正面衝突して後続の車も追突、重傷者がでたという設定。非常電話から事故発生の通報後、高速隊パトカー(県警)・管理隊パトカー(道路公団)がわずか四分で到着。嶺北・南国・山田各消防署から、救急車が到着するまで六分少々。大破した乗用車をカタ



救急活動に続き、火災訓練が行われた。

ガンリンが燃えたと、消火剤ではすぐ消し止められたのに、消火栓からの放水では消

で切断して、中から重傷のドライバーを助け出す救急活動は、さすが見事。事故発生から三十分で、担架に乗せ病院へ…。JAFによる事故車のレッカー移動で、現場はスムーズに片づく。

第一のギモン

非常電話は、いったいどこにつながる?
 ずばり高松の交通管制室(二十四時間OK)こそが、高速隊や管理隊、各消防本部に出動要請・通行止めの指示などを出すとのこと。

第二のギモン

トンネル火災で、水噴霧放水設備で火災が消えるのか?
 消火というより、火災によるトンネル内の温度上昇を防ぐためのもので、消火栓の放水やポンプ車で、火事は消すとのこと。



天井からの水噴霧放水設備

消火訓練に参加して、実際に火を消したバスの運転手さんの感想を聞きもしたが、意外に火は消えにくい。万一事故が発生した場合は、事故と火災が同時に起こる可能性が多いわけで、消火器による初期消火がとても大切だと実感した。また、もし事故発生時に、



万一のための避難連絡坑

なことが、あつてはならないけれど、訓練を見学させてもらい、実際自分の足で歩き確認できたことで、万一の時の心構えができたような気がする。



非常電話

また、高速道路の安全管理のため働く多くの関係者の皆さんを知り、感謝とともに、高知自動車道について、いろいろ勉強できた。高速道路の防災設備や事故処理関係者にお世話になることがないよう、クルマの運転にはお互い十分注意したいものである。

普通なら絶対できないトンネルの真ん中を通り、深夜十一時の取材を終えた。